

## 図書館のオススメ

を単行本化。  
出版社…新潮社  
分類…Fキム

### 【一般書】

#### ○世界の天空の城

アフロ、水野久美 著

朝霧につつまれた竹田城跡、雲海に浮かぶインカの遺跡マチュ・ピチュ……。栄枯盛衰の歴史物語に迷い込んだかのような幻想的な世界各国の天空の城44を収録。ミニ解説やプチガイドなども掲載。

出版社…青幻舎  
分類…520セ



### 【児童書】

#### ○三島由宇、当選確実！

まはら三桃 著

三島由宇は若葉小学校児童会の副会長にして、5年2組の学級委員。由宇は、政治家であるおじいちゃんの選挙運動を手伝う特別な春休みを過ごす……。政治と選挙がわかる物語。『毎日小学生新聞』連載を改題し、加筆・修正。

出版社…講談社  
分類…913マ

### 【絵本】

#### ○によっ！

ザ・キャビンカンパニー 作

広く深く美しい海から、「によっ！」と飛び出てきたあれ、なあに？人魚のポニーテール？かぶとむしの角？また何か飛び出てきた！頭が柔らかくなるアイデアに溢れた、新感覚の間答絵本。

出版社…小学館  
分類…Eザ



#### ○野良ビトたちの燃え上がる肖像

木村友祐 著

河川敷で猫と暮らす柳さんは、ある日、町で「野良ビトに缶を与えないでください」という看板を見た。やがて国ぐるみで野宿者を隔離しようとする計画が……。格差、貧困の問題に迫る新鋭の力作。『新潮』掲載



三和図書館

## 注目 企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～  
「大好きな和装文化を身近なものに」

古河和装 山本ひかるさん

「和裁」という言葉をご存じですか。1枚の反物を裁断し、縫い合わせ、和服を仕立てる技術のことです。

日本の伝統文化である和服を仕立て、後世に伝える和の職人になろうとしたキッカケは、「和裁士として和服の縫製をしていた母を小さい頃から見ており、着物に囲まれた環境だったこと」と話します。

和装の道に進む実例が学校になく、進学先に困っていたところ、母に紹介されたのが古河市にある「匠きもの短期大学」でした。

生まれ育った北海道から遠く離れはしましたが、優しくも厳しい先生や先輩に恵まれ、卒業後5年目には「全国和裁技能コンクール」で内閣総理大臣賞、「技能五輪全国大会」で金メダルを受賞するほどの技術

を身につけた山本さん。

最初は、自分が思い描いたイメージに技術が追いつかず、悔しい思いの連続。しかし、「この仕事(和裁)が大好き」という気持ちに支えられ、幾度となく目標を達成してきた山本さん。次なる目標を「着物＝特別なものというイメージを変え、身近なものにしたい」と話す姿には伝統文化を受け継ぐ、凛とした職人の気品が溢れていました。

■プロフィール  
音楽を聞くことが趣味でロックバンド「Hi-STANDARD」の大ファン。  
北海道北見市出身  
旭町在住 26歳

